

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
地域づくり交付金について	<p>これまでに引き続き、今後5年間においても地域づくり交付金の活用ができるとのことであるが、この交付金を地域づくりにおいてどのように使うのが理想か、市長が思うところはあるか。（これまでよりも交付金が増額されたことも踏まえて）</p>	<p>地域づくりに目を向けたとき「小さな地域（小学校区、単位自治会）の重なりが宇和島市である」ことを考えると、市町村合併以降の地域づくり対策・支援において不足していた点もあったかと思えます。</p> <p>この度、この制度については、年度を繰り越しての積立金の限度額を拡充（単年補助金額の10%を上限から30%を上限）したこと、公民館事業への充当、協議会から単位自治会への事業助成も可能としたことなど、できるかぎり柔軟な対応ができるよう、積極的な運用方法に変更しています。</p> <p>また、今回から、配分割合の中に、子ども数割を新たに加えて算定しており、本市の未来を担う子供のための事業にも積極的に充当していただきたいという私の思いも込めています。</p>	-	企画情報課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>「一日遊べる公園」がほしい</p>	<p>宇和島で、子供連れの家族が一日遊べる公園がない。 家族がゆっくりと一日過ごせる場所（公園）をお願いしたい。</p>	<p>現在、宇和島市には、私の子供時代にはあった映画館がないなど、家族が1日過ごせるレクリエーション施設が少なくなっていることは事実であります。また御指摘のように子供たちが遊ぶ市内の公園には、充実した遊具が少ないことなど、特に市外から移り住まれた方たちから見て、本市は「子供にやさしくないまち」と言われることもあります。</p> <p>そのために、現在、子供連れの家族がゆっくり遊べる公園として、吉田公園の整備を行っています。</p> <p>今後、時間はかかりますが、「子供たちの笑い声が聞こえる、家族がゆったりと暮らしていけるまち」にしていきたいと思っています。</p>	<p>公園の整備につきましては、平成25年度から丸山公園ほかの公園にベンチを15基設置、平成29年度から平成31年度の予定で各公園の遊具の更新、また吉田公園は平成28年度から平成31年度の予定で改修工事を行っています。</p> <p>今後も家族がゆっくりと過ごせる公園の整備を行っていきます。</p>	<p>都市整備課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
来村川の堤防の整備について	堀部公園から上流に向かい細い道があるが、津波や水害対策としてそこに堤防を整備してほしいと考えている。	来村川は県の管理となっており、担当を通じて県にお伝えします。	<p>県に確認したところ、</p> <p>「本県の津波対策につきましては、住民の生命を守ることを最優先とし、一定の防護施設を備えつつ、安全な場所への避難を基本に、ハード・ソフト両面での総合的な防災対策を推進することとしています。御要望のありました来村川の堤防整備につきましても、来村川水系河川整備基本方針に基づき、海岸整備と連携して必要な対策を検討していきます。」</p> <p>との回答でした。</p>	建設課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>人権問題について</p>	<p>部落差別解消法においても、いろいろな分野での啓発がうたわれている。あらゆる差別のないまちづくりを推進していくために、人権教育を核として住みよい宇和島にしてほしいと思うが、何か方向性はあるか。</p>	<p>社会情勢の目まぐるしい変動の中においても、様々な差別解消を実現するためには、まだまだ根深い問題があると認識しております。</p> <p>差別解消に向けた法整備が順次進められているのも、国の意思の表れだと思いますが、差別というものは人の「心の中」にあるもので、法律が整っても、なかなか対応しきれていないのが現状だと思います。</p> <p>今後もあらゆる場面において差別解消に向けた「教育」の継続や繰り返しの啓発活動などを地道に取り組むことが必要であると考えていますので、引き続き、皆様のお力添えをお願いします。</p>	<p>今年度、市内の小中学校が人権啓発CMを企画立案し、宇和島ケーブルテレビ株式会社と協力して放送する事業を予定しています。CMの作り手である児童生徒と、視聴者である市民の皆さんの双方において、広く人権意識の向上を図り、様々な人権関係法令などを周知します。</p> <p>また、県内で最初になる部落問題フォーラムの開催や、昨年度、人権関係団体と各課との連携会議を立ち上げ、部落差別解消に向けた取り組みについて協議してきましたので、本年度はその具現化を目指します。</p>	<p>人権啓発課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>学校給食について①</p>	<p>学校給食における「地産地消」について、内容や考えを知りたい。</p>	<p>全ての食材を宇和島産にできないのは、全てを地産地消で行うとコスト面で合わないという厳しい現実があります。給食費をご負担いただいている家庭にも、なるべく経済的負担をかけないことと、可能な限り地産地消に努めることの両立は、十分できていないと感じております。</p> <p>地元の良いものを食べていただくことも、本当の意味で「食育」につながると思います。学校給食における地産地消は、本市の未来を担う子供に目を向けるという点からも、今後しっかりと検討していく必要があると考えています。</p>	<p>学校給食への補助制度としましては、地元産食材の消費拡大と、児童生徒の地元食材への関心を深めることを目的に宇和島産の食材を使用した場合に、年間460万円の補助金を一食50円を上限に交付しています。</p> <p>その内100万円は特別献立としてぶりの照り焼きを使用しています。また地元食材を使用した場合の給食時には、校内放送で主な食材の紹介もしています。</p> <p>日々の食材を宇和島産で確保する事は量的に不可能であるため、今後可能であれば特別献立の回数を増やしてはどうか検討中です。また現在三間地区だけで使用している三間米を全給食に使用できないか調査中でもあり、作付け前から確保作業が必要であることを含め、学校給食会に三間米の確保ができるか確認中です。</p>	<p>学校給食センター</p>

平成30年度 タウンミーティング

日時：5月8日（火）19：00～20：05

場所：番城公民館

参加者：23名

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
学校給食について②	宇和島は海産物も有名であるが、海の汚染などもあるなかで「海のもの」の安心・安全性について、どのような対策をしているか。	第一次産業が基幹産業である宇和島では、魚の養殖で使用する餌の改良を行うなど環境への配慮もしていますが、赤潮やごみの漂流など、まだまだ継続して対応しなければならない問題もありますので、今後も対策を考えていきます。	-	水産課

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>保育園での昼寝の有無について</p>	<p>保育園児の午睡（昼寝）の時間がないところがある。 体力的にも、子供に負担がかかっているのではないか。</p>	<p>園ごとの時間割で差があるのではないかと思います、確認のうえ回答します。</p>	<p>保育園では、主に3歳未満の保育園児については、通年にかけて午睡時間がありますが、3歳以上については次のような状況です。 ○3歳児(年少クラス) 通年実施している園もあれば、原則として4月から12月までの間と期間を限定して実施している園もあり、午睡の導入時間は園によってばらつきがあります。 ○4・5歳児(年中・年長クラス) 原則として、4月から夏場まで、または夏場のプール実施時期に午睡をしています。 4・5歳児は、体力が備わってきており、就学に向けたリズムづくりや活動の充実により午後の保育時間を充てています。 ただし、3・4・5歳児の午睡に関する共通事項として、上記の期間以外にも年齢にかかわらず、個人の様子にも配慮しながら午睡や休息の時間を取るなど対応しており、状況に応じて子どもたちの育ちに必要な生活リズムを配慮し、午睡時間をとるよう努めています。</p>	<p>福祉課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>農業後継者について</p>	<p>農業における後継者不足の対応として、もう少し補助金制度に柔軟性をもたせてほしい。また、若い人材に対して、地元に着し、産業としてやっていくための「本当の農業」についての指導、販売ルートの整備などが必要に思うが、どのように考えているか。</p>	<p>私も、皆さんが本気で農業に取り組まれている姿を実際に拝見させていただいています。現在の補助制度は、これまでの農業の仕組みの中でしか対応できていない点があるのも事実であろうと思います。</p> <p>これから将来に向けて、若者に本市の農業を「雇用の場」として考えていただけるような取り組みをしていきたいと思っています。</p>	<p>言及されておられる補助金制度は、国の交付金によって賄われる事業です。趣旨に沿わない運用については、補助金返還の対象となるなど、国の事業であるため、市町村の裁量に対する自由度はなく、定められた方法でしか運用できませんので、趣旨を十分御理解いただいた上で制度の利用を御検討いただきたいと思います。</p> <p>一方で、この補助制度の後押しもあって、若い農業後継者が増加しているのも事実であります。</p> <p>今後は、これら若い担い手の意欲をより高められるよう、よりよい栽培技術の確立や生産基盤の整備を進めていくと同時に、現在農業に縁遠い若者にも、将来農業を職業の選択肢の一つとして捉えていただけるよう、6次産業化や販促活動のPR等の取り組みについても、県やJAとも連携をとりながら戦略的に検討していきたいと思っています。</p>	<p>農林課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
<p>薬師谷溪谷の整備について</p>	<p>観光パンフレットでも紹介されている薬師谷溪谷について、観光客を呼べる場所にしていただきたい。</p>	<p>近年、宇和島においては、年間10隻前後の外国クルーズ客船に寄港いただいております。その外国のお客様に宇和島市内の観光プログラム造成のために視察が行われたのですが、その際、本市の観光資源の中でも、薬師谷溪谷は高い評価をいただいております。</p> <p>薬師谷溪谷の環境整備について、関係団体（宇和島市観光物産協会など）にも御尽力いただいておりますが、まだ十分でないということは認識しています。</p> <p>今後、本年3月に策定した「宇和島市観光戦略ビジョン」を実行に移す中で、観光資源としての薬師谷溪谷の情報発信を含めて、どのような対応をしていくことが効果的か、検討していきたいと思っております。</p>	<p>薬師谷溪谷の「岩戸の滝」付近は、比較的容易にアクセスできる景勝地として外国人観光客の評価も高いスポットとなっています。</p> <p>一方、「雪輪の滝」～「千畳敷」、さらに溪谷の奥へと続く遊歩道はこれまでも修繕を重ねてきましたが、老朽化に加えて、台風や大雨による倒木被害も起きています。</p> <p>いったんは森林組合の御協力により、遊歩道にかかる倒木は撤去してもらったものの、周辺斜面にはまだ倒木が放置されている状況が続いています。しかし、周辺一帯はほぼ民間所有地であり、土地所有者による管理が行き届かない限りは、今後も倒木による遊歩道寸断が起きると予想されます。</p> <p>大規模な予算を投じて一時的に整備する可能性については、費用対効果を踏まえて慎重に判断する必要がありますと認識しています。</p>	<p>商工観光課</p>

事項	要望・質問内容等	当日の回答	補足説明等	担当課
観光案内板の整備について	<p>細木運河への観光案内板を整備することで、遊子の段畑からさらなる観光ルートとして周知できるのではないか。</p>	<p>細木運河については、市民の皆様の間でも、まだまだ観光資源としての認識が低いものと思われます。</p> <p>ただ、蔣淵地区で様々な地域づくり活動に取り組まれている「こもねっと」という団体が、細木運河も含めた蔣淵地区の観光振興にも積極的に取り組まれています。</p> <p>本市としても、細木運河を観光資源として今後どのように活用していくことができるのか考えたいと思います。</p>	<p>遊子の段畑からさらなる観光ルートという視点においては、近年「企業組合こもねっと」が積極的に情報発信をしていただくことにより、蔣淵地区の認知度が向上し、立ち寄る観光客も増加傾向にあるという印象を受けています。</p> <p>蔣淵及びこもねっとの拠点「こもてらす」とあわせて、細木運河も観光ルートとして発信したいと考えていますが、観光案内板については、必要性や景観面を考慮しながら検討したいと思います。</p>	<p>商工観光課</p>